

●南海トラフ沿いの地震活動

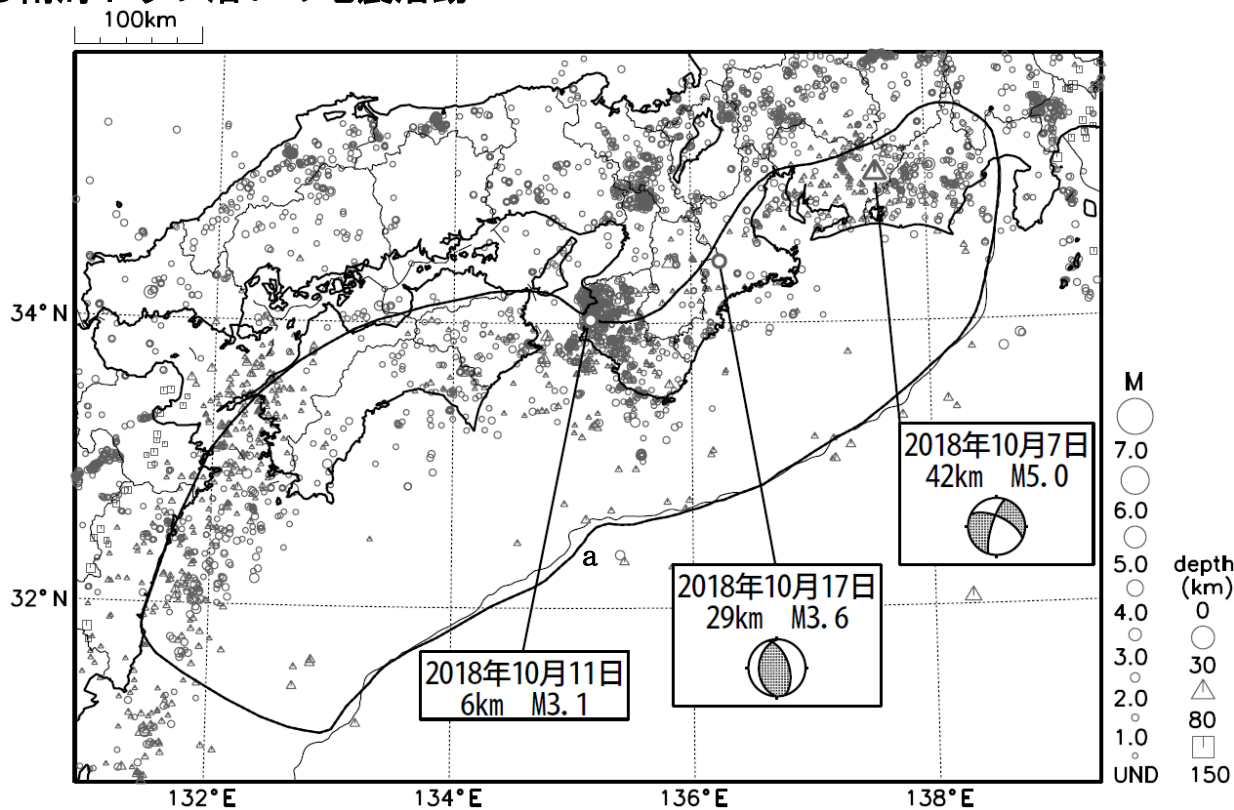


図 1 震央分布図 (2018 年 10 月 1 日～10 月 31 日、深さ 0～150km、M すべて)
・ 図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域 (領域 a 内) で最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震、それ以外 (領域 a 内以外) の陸域 M5.0 以上・海域 M6.0 以上とその他の主な地震。
・ 震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
・ 発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大震度	発生場所
10/ 7	10:14	愛知県東部	42	5.0	4	フィリピン海プレート内部
10/11	17:52	和歌山県北部	6	3.1	3	地殻内
10/17	08:55	三重県中部	29	3.6	3	

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 10月1日～2日 10月8日 <u>10月10日～15日</u> ・・・(3) 10月17日～18日 10月21日、10月22日 10月24日～26日 <u>10月30日～（継続中）</u> ・・・(4) ■四国中部 10月7日 10月14日～15日 10月25日 <u>10月30日～（継続中）</u> ・・・(4) ■四国西部 <u>9月29日～10月15日</u> ・・・(2) 10月17日～21日 10月23日～25日 10月30日～（継続中）	■紀伊半島北部 <u>9月18日～10月1日</u> ・・・(1) ■紀伊半島中部 10月23日 10月25日 ■紀伊半島西部 10月14日～15日 10月20日～21日 10月23日～26日 10月28日～29日	10月3日 <u>10月5日～10月17日</u> ・・・ (1) 10月25日～26日 10月31日～（継続中）

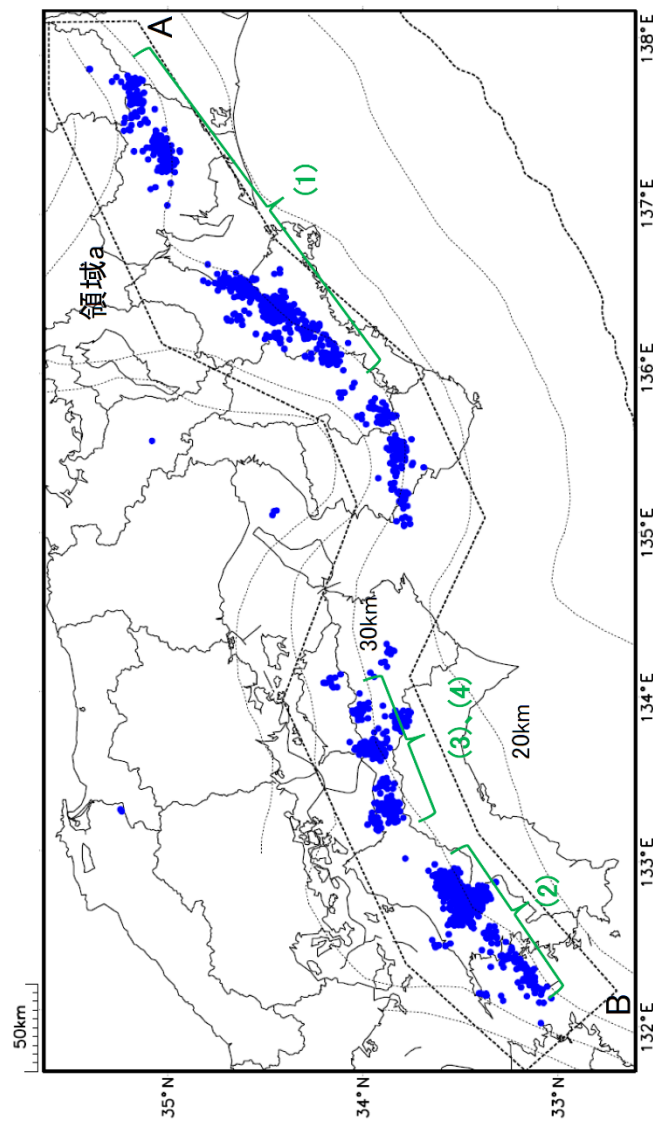
※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）、（2）、（3）、（4）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

深部低周波地震（微動）活動

深部低周波地震（微動）の震央分布図（2018年9月15日～10月31日）



主な活動

番号	活動場所	期間
(1)	紀伊半島北部から東海	9月18日～10月17日
(2)	四国西部	9月29日～10月15日
(3)	四国東部から四国中部	10月10日～10月15日
(4)	四国東部から四国中部	10月30日～ (11月5日現在継続中)

●：深部低周波地震（微動）の震央

点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10kmごとの等深線)を示す。

領域a(点線矩形)内の時空間分布図
(A-B投影)

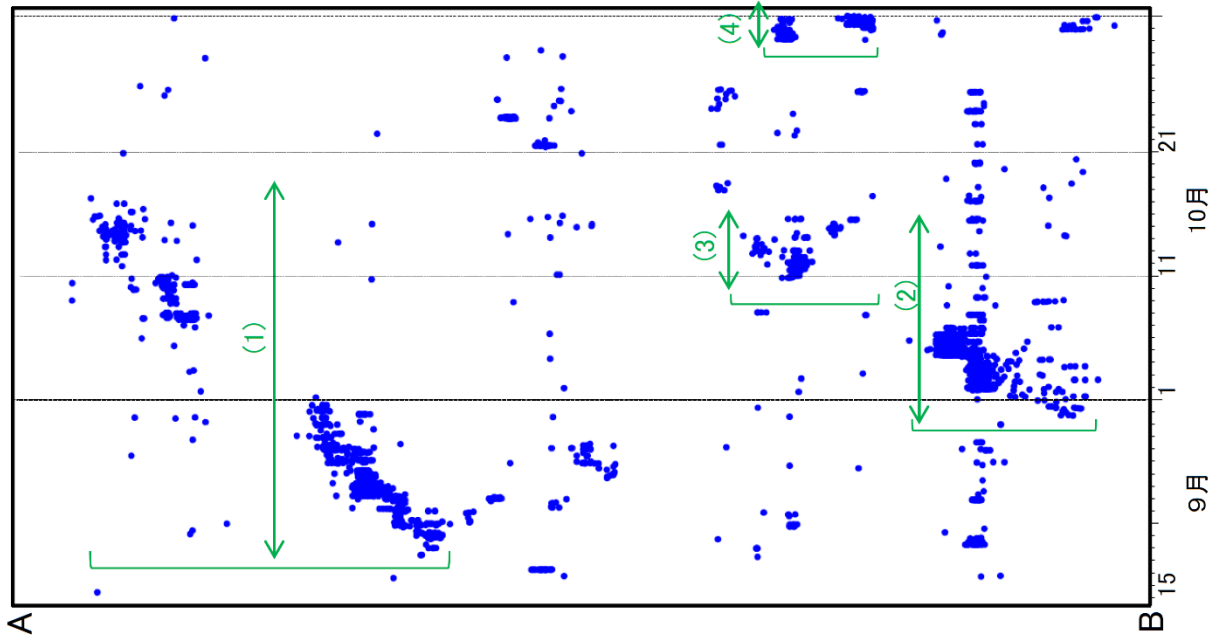


図2 深部低周波地震（微動）活動（2018年10月1日～2018年10月31日）